

## 令和3(2021)年度とちぎ医療福祉機器産業振興協議会事業報告

計 画 概 要	実 施 事 業																				
<p><b>1 ネットワーク形成支援</b> 産学官のネットワークを形成し、相互交流、情報交換等を促進</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center; margin: 0;"><b>共 通</b></p> <p>(1) とちぎ産業振興協議会及びとちぎ未来技術フォーラムの会員数</p> <p style="text-align: right;">(社・団体)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 5px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">組 織</th> <th style="width: 25%;">R3年度当初 会員数</th> <th style="width: 25%;">入退会数</th> <th style="width: 25%;">現会員数 (R4. 3. 31)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自動車</td> <td style="text-align: center;">379</td> <td style="text-align: center;">+5</td> <td style="text-align: center;">384</td> </tr> <tr> <td>航空宇宙</td> <td style="text-align: center;">228</td> <td style="text-align: center;">+8</td> <td style="text-align: center;">236</td> </tr> <tr> <td>医療福祉機器</td> <td style="text-align: center;">281</td> <td style="text-align: center;">+10</td> <td style="text-align: center;">291</td> </tr> <tr> <td>フォーラム (AI・IoT・ロボット、光学、 環境・新素材)</td> <td style="text-align: center;">316 (R3. 5. 18発足時)</td> <td style="text-align: center;">+14</td> <td style="text-align: center;">330</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>(2) プロジェクト推進会議(オンライン開催) 幹事、顧問等により、令和3年度事業の内容等について協議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車：R3. 3. 25(木)開催</li> <li>・航空宇宙：R3. 3. 17(水)開催</li> <li>・医療機器：R3. 3. 23(火)開催</li> </ul> <p>(3) とちぎ産業振興協議会定期総会、とちぎ未来技術フォーラム設立会議等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：R3. 5. 18(火)</li> <li>・会場：ホテル東日本宇都宮</li> </ul> <p>○とちぎ産業振興協議会定期総会(自動車、航空宇宙、医療機器)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議題：令和2(2020)年度事業報告について 令和3(2021)年度事業計画(案)について 会則改正(案)について 役員改選(案)について</li> <li>・参加：自動車…201社・団体(含委任状151)、50名 航空宇宙…135社・団体(含委任状104)、31名 医療機器…166社・団体(含委任状125)、41名</li> <li>・結果：各議案について原案どおり承認</li> </ul> <p>○とちぎ未来技術フォーラム設立会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議題：会則の制定について 会長及び幹事の選任について 令和3(2021)年度事業計画(案)について</li> <li>・参加：24社・団体(含委任状5)、19名</li> <li>・結果：各議案について原案どおり承認</li> </ul> <p>○戦略3産業×未来3技術 推進体制構築記念講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・演題：「カーボンニュートラルに向けた取組と実現へのシナリオ」</li> <li>講師：産業評論家・工学博士 進藤 勇治 氏</li> <li>・参加：189名</li> </ul> <p>(4) コーディネート事業 (公財)栃木県産業振興センターにコーディネーターを配置し、協議会</p>	組 織	R3年度当初 会員数	入退会数	現会員数 (R4. 3. 31)	自動車	379	+5	384	航空宇宙	228	+8	236	医療福祉機器	281	+10	291	フォーラム (AI・IoT・ロボット、光学、 環境・新素材)	316 (R3. 5. 18発足時)	+14	330
組 織	R3年度当初 会員数	入退会数	現会員数 (R4. 3. 31)																		
自動車	379	+5	384																		
航空宇宙	228	+8	236																		
医療福祉機器	281	+10	291																		
フォーラム (AI・IoT・ロボット、光学、 環境・新素材)	316 (R3. 5. 18発足時)	+14	330																		

計 画 概 要	実 施 事 業																				
	<p>及びフォーラム会員企業からの各種相談等に対応した。</p> <table border="1" data-bbox="571 286 1348 658"> <thead> <tr> <th>分 野</th> <th>コーディネーター等</th> <th>相談等対応件数 (R4. 3. 31現在)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自動車</td> <td>岩下 隆</td> <td>65件</td> </tr> <tr> <td>航空宇宙</td> <td>松本 司(～R3. 6) 田代 真一(R3. 7～)</td> <td>66件</td> </tr> <tr> <td>医療福祉機器</td> <td>鈴木 薫</td> <td>91件</td> </tr> <tr> <td>AI・IoT・ロボット</td> <td>とちぎビジネスAIセンター</td> <td>141件</td> </tr> <tr> <td>光学</td> <td rowspan="2">出口 信吉</td> <td>17件</td> </tr> <tr> <td>環境・新素材</td> <td>43件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 情報提供事業 ホームページ、メールマガジン等により随時、実施事業や県、国、支援機関における各種支援施策等に関する情報を提供</p> <p>(6) 協議会及びフォーラムの連携 各協議会が開催したセミナー、人材育成講座等においてフォーラム会員の参加を広く呼びかけたほか、フォーラム事業における交流やコーディネーターを介した情報交換等により連携を図った。</p>	分 野	コーディネーター等	相談等対応件数 (R4. 3. 31現在)	自動車	岩下 隆	65件	航空宇宙	松本 司(～R3. 6) 田代 真一(R3. 7～)	66件	医療福祉機器	鈴木 薫	91件	AI・IoT・ロボット	とちぎビジネスAIセンター	141件	光学	出口 信吉	17件	環境・新素材	43件
分 野	コーディネーター等	相談等対応件数 (R4. 3. 31現在)																			
自動車	岩下 隆	65件																			
航空宇宙	松本 司(～R3. 6) 田代 真一(R3. 7～)	66件																			
医療福祉機器	鈴木 薫	91件																			
AI・IoT・ロボット	とちぎビジネスAIセンター	141件																			
光学	出口 信吉	17件																			
環境・新素材		43件																			
<p><b>2 人材育成・確保支援</b> 各産業分野や技術領域において求められる質の高い多様な人材の育成・確保のための取組を実施</p>	<p>(1) 医療福祉機器・ヘルスケア産業人材育成事業</p> <p>①医療福祉機器・ヘルスケア産業人材育成講座(業界ニーズ編) (R3. 11. 11, 16, 18, 22・オンライン) 医療福祉機器・ヘルスケア産業のマーケットから、医療・看護現場の状況等について学習し、業界ニーズに精通した人材の育成を目指す講座を開催 ・講師：自治医科大学、国際医療福祉大学、帝京大学、京都府立医科大学、(株)ドゥリサーチ研究所、(一社)日本福祉用具・生活支援用具協会、訪問看護ステーションたんぽぽ ・参加：6社、6名</p> <p>②医療福祉機器・ヘルスケア産業人材育成講座(ビジネス参入編) (R3. 11. 30, 12. 2, 7, 9・オンライン) 医療福祉機器・ヘルスケア産業分野における、機器の製造等ビジネスの基礎から、ビジネス展開を図る上で重要な法規制について学ぶことで、機器開発を主導できる人材の育成を目指す講座を開催 ・講師：国際医療福祉大学、(株)ファーレックス、(株)メディカルラボパートナーズ、パラマウンドベッド(株)、(株)NOve1、(株)ヘルスケア・ビジネスナレッジ ・参加：6社、6名</p> <p>(2) とちぎ発！次世代型医療・福祉機器開発支援事業 ○拡大連携促進セミナー 未来3技術を活用した医療福祉機器の創出に向けた連携体構築機運醸成のためのセミナーを開催</p>																				

計 画 概 要	実 施 事 業
	<p>[第1回] (R3. 5. 24・オンライン)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演①：「医療・介護現場における AI・IoT・ロボットの活用・展開に向けて」 講師：獨協医科大学情報基盤センター 教授 センター長 坂田 信裕 氏</li> <li>・講演②：「健康を数値化するアプリ/AI/IoT 開発」 講師：ならでわ(株) 代表取締役 大塚 拓也 氏</li> <li>・講演③：「連携体構築におけるポイント」 講師：(株)考える学校 代表取締役 柏野 聡彦 氏</li> <li>・参加：27 社・団体、33 名</li> </ul> <p>[第2回] (R4. 1. 21・オンライン)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演①：「MR 技術を駆使した 3D リハビリテーションシステム『リハまる』」 講師：(株)テクリコ 代表取締役 杉山 崇 氏</li> <li>・講演②：「産学官連携で事業化を実現したウェアラブルロボット『マッスルスーツ®』」 講師：東京理科大学工学部 教授 小林 宏 氏</li> <li>・参加：19 社・団体、21 名</li> </ul> <p><b>共 通</b></p> <p>(1) 現場改善支援事業 日産自動車(株)の協力により、生産性向上や在庫削減等の現場改善活動を支援</p> <p>○現場改善講師派遣事業(H21. 1～)(ファンド事業※) ※ とちぎ未来チャレンジファンド活用助成事業(以下同じ) 日産自動車(株)社員が支援企業に赴き、生産現場改善を直接指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援企業：4 社(2 年目企業: 3 社、1 年目企業: 1 社)</li> <li>・協力：日産自動車(株)APW改善コンサルティング室</li> </ul> <p>(2) 企業概要説明会 新卒者採用の円滑化に向け、大学等と連携し企業概要説明会を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○宇都宮大学(R4. 2. 14～16・オンライン) 20社参加 2/14 598名 2/15 366名 2/16 196名</li> <li>○帝京大学(R4. 2. 7～10：対面 / R4. 2. 14～17：オンライン) 16社参加、訪問学生数 2/7～10 278名 2/14～17 378名</li> <li>○足利大学(R4. 3. 8～10：オンライン) 21社参加、訪問学生数 3/8 144名 3/9 124名 3/10 114名</li> <li>○小山工業高等専門学校(R4. 2. 16～3. 6：専用サイトへ企業情報掲載) 44社参加、訪問企業数 149名</li> <li>○関東職業能力開発大学校(R4. 1. 29, 30：オンライン) 4 社参加、訪問学生数 1/29 78名 1/30 50名</li> <li>○県央産業技術専門学校(R4. 3. 4, 8：オンライン) 19社参加 3/4 63名 3/8 176名</li> </ul> <p>※ 参加(閲覧)学生数(現在集計中)は、説明会に参加(サイトへアクセス)した延べ人数(非会員企業への訪問数も含む)である。</p>

計 画 概 要	実 施 事 業
<p><b>3 研究開発支援</b></p> <p>加工技術や製品等の具体的研究・開発等を進めるため、研究会、助成事業等を実施</p>	<p>(1) <b>とちぎ発！次世代型医療・福祉機器開発支援事業 拡大連携マッチング事業</b></p> <p>次世代型医療福祉機器製品の開発に向けた企業シーズ、医療福祉系大学からの医療・福祉ニーズ、最新の未来技術について意見交換できる場を提供するとともに、コーディネーターによる創出された開発テーマのプロジェクト化の支援を実施</p> <p>○シーズピッチ・ニーズ研究会 6テーマによる研究会を開催</p> <p>○コーディネーターによるフォローアップ シーズピッチ・ニーズ研究会においてコーディネーターによるプロジェクト化支援及びフォローアップを実施</p> <p>・コーディネーター：(一社)日本医工ものづくりcommons 副理事長 柏野 聡彦 氏</p> <p>(2) <b>次世代型医療福祉機器開発支援補助金</b></p> <p>県内中小企業が医療福祉系大学、工学系大学・試験研究機関等と連携して行う、未来3技術を活用した次世代型医療福祉機器開発に要する経費の一部を助成(助成率1/2以内、限度額1,000万円)</p> <p>・実績：4件</p> <p><b>共 通</b></p> <p>(1) <b>戦略3産業分野における共同研究</b></p> <p>戦略3産業における技術開発を支援するため、波及効果が高いテーマについて、企業等と産業技術センターが共同研究を実施</p> <p>・「難削材のエンドミル加工へのMQLの適用」(航空宇宙) 参加企業：1社</p> <p>・「射出成形におけるランナーの工程内リサイクルに関する研究」(自動車、環境・新素材) 参加企業：1社</p> <p>(2) <b>戦略産業牽引企業支援補助金</b></p> <p>協議会会員企業等が行う戦略産業分野に関する先進的な技術や製品の開発等に対して、経費の一部を助成(助成率1/2以内、限度額2,000万円)</p> <p>・実績：4件</p> <p>(3) <b>産学官金連携プロジェクト支援事業</b></p> <p>戦略産業分野の抱える共通課題等を解決する取組について、連携プラットフォーム構築を支援するほか、研究開発に要する経費を助成(助成率10/10、限度額300万円)</p> <p>・実績：2件</p> <p>※ 令和3年度は新規募集を行わず、前年度採択事業を継続支援</p> <p>(4) <b>ものづくり技術強化補助金(とちぎ未来技術活用促進枠)</b></p> <p>とちぎ未来技術(AI・IoT・ロボット、光学、環境・新素材)を活用した新製品等の研究開発又は技術の高度化に係る研究開発等に対して、経費の一部を助成(助成率1/2以内、限度額1,000万円)</p> <p>・実績：4件</p>

計 画 概 要	実 施 事 業
	<p>(5) ものづくり技術強化補助金(いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会推進枠) 「環境に配慮した いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」を実現するため、環境に配慮した製品開発等に対して、経費の一部を助成(助成率1/2以内、限度額100万円) ・実績：4件</p> <p>(6) 技術高度化助成(ファンド事業) 会員企業が行う技術の高度化、新技術の開発等に要する経費の一部を助成(助成率2/3以内、限度額300万円) ・実績：3件</p>
<p><b>4 販路開拓支援</b> 取引拡大を図るため、展示会の開催や会員情報発信等を実施</p>	<p><b>共通</b></p> <p>(1) ものづくり企業技術提案事業 県内外のニーズ元企業から収集した開発・調達ニーズに対し会員企業がソリューションを提案する機会を設定 ・提案実績：1件のニーズに対し延べ8社が提案</p> <p>(2) 展示会出展助成(ファンド事業) 各種展示会への出展に要する経費の一部を助成(助成率2/3以内、限度額100万円) ・実績：8件</p> <p>(3) 品質マネジメントシステム認証取得支援(ファンド事業) 販路開拓に必要な品質マネジメントシステムの認証取得助成(助成率2/3以内、限度額100万円[申請料、初回登録料等]) ・会員実績なし</p> <p>(4) 会員情報等発信 ・栃木県ものづくり企業ガイドブックの配付 ・県のホームページで協議会及び会員企業の情報を発信</p>
<p><b>5 企業立地支援</b> 誘致インセンティブの強化等により、関連企業の集積拡大等を促進</p>	<p><b>共通</b></p> <p>(1) 地域未来投資促進法による支援 地域未来投資促進法に基づき県が作成した基本計画（計画期間：R5.3.31まで）において定められた地域の特性を活用し、県が定めた一定の付加価値額及び地域の事業者に対する経済的効果が見込まれる事業（地域経済牽引事業）を行う民間事業者に対し各種支援を実施 ・会員実績なし 《主な支援制度》 ①税制による支援措置 ②金融による支援措置</p> <p>(2) 地域再生法による支援 地域再生法に基づく「とちぎ本社機能立地促進プロジェクト」（計画期間：H28.3.15～R6.3.31）において、県知事に計画を申請し認定を受けた</p>

計 画 概 要	実 施 事 業
	<p>事業者の本社機能等の移転・拡充を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実績：会員 1 件</li> </ul> <p>《主な支援制度》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①オフィス減税の特例措置</li> <li>②雇用促進税制の特例措置</li> <li>③中小企業基盤整備機構による債務保証</li> <li>④日本政策金融公庫による中小企業向け低利融資</li> </ul> <p>(3) 立地支援関係の県補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①栃木県企業立地・集積促進補助金 <ul style="list-style-type: none"> <li>本県への企業立地、研究開発機能や本社機能を有する工場等の立地を促進するため、土地の取得・建物の新築等に対して補助</li> <li>・実績：会員 4 件</li> </ul> </li> <li>②栃木県産業定着集積促進支援補助金 <ul style="list-style-type: none"> <li>県内で長年生産活動をする既存企業の工場等の新增設、建替えに対する補助</li> <li>・会員実績なし</li> </ul> </li> <li>③栃木県本社機能等立地支援補助金 <ul style="list-style-type: none"> <li>企業の地方拠点化を図るため、本社機能等を県内に設置する場合のオフィス賃借料に対して補助</li> <li>・会員実績なし</li> </ul> </li> <li>④栃木県オフィス移転推進補助金 <ul style="list-style-type: none"> <li>県外企業がリモートワークを推進するために地方への移転や分散をする目的で、県内にオフィスを設置する場合の賃借料に対する補助</li> <li>・会員実績なし</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>6 資金調達支援</b></p> <p>戦略3産業・未来3技術等の分野における円滑な資金調達を支援</p>	<p><b>共 通</b></p> <p>(1) 産業政策推進資金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○重点政策推進融資 <ul style="list-style-type: none"> <li>県が戦略的に推し進める産業施策に取り組む企業を対象とした県制度融資による優遇資金</li> <li>・会員実績なし</li> </ul> </li> </ul> <p>(2) 産業立地促進資金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①新規立地促進融資 <ul style="list-style-type: none"> <li>各種法令等に基づく県内工場適地や県内産業団地への工場等新設に対する融資</li> <li>・会員実績なし</li> </ul> </li> <li>②グローアップ融資 <ul style="list-style-type: none"> <li>先進的な大規模投資等に対する融資</li> <li>・会員実績なし</li> </ul> </li> </ul>

計 画 概 要	実 施 事 業
<p><b>7 新型コロナウイルス感染症対策支援(県工業振興課事業)</b>            新型コロナウイルス感染症対策に資する取組を支援</p>	<p><b>共通</b></p> <p>(1) <b>ものづくり技術強化補助金(新型コロナ対策製品開発支援枠)</b>            新型コロナウイルス感染症対策に資する新製品等の研究開発又は技術の高度化に係る研究開発に対して助成(助成率2/3以内、限度額1,000万円)            ・実績：4件</p> <p>(2) <b>サプライチェーン再構築等支援補助金</b>            新型コロナウイルス感染症の影響によるサプライチェーンの毀損等により、海外に発注していた部品の自社製造への切り替えや新たな受注に対応するための再構築(強靱化・複線化)に必要な設備導入等に対して助成(助成率2/3以内、限度額1,000万円)            ・実績：11件</p> <p>(3) <b>戦略産業経営力強化支援補助金(戦略産業分野合同事業)</b>            戦略3産業における中小企業の新規事業創出や新たな販路開拓の取組に要する経費等に対して助成(助成率2/3以内、限度額1,000万円)            ・実績：7件</p> <p>(4) <b>産業技術センターの使用料・手数料減免</b>            新型コロナウイルス感染症により事業活動に影響を受けている県内中小企業を対象に、産業技術センター及び各技術支援センターにおける施設機器使用料及び依頼試験手数料を減免(減免率50%)            ・実績：施設機器使用料減免…9社・33件            依頼試験手数料減免…34社・742件</p> <p>(5) <b>(公財)栃木県産業振興センターへの受発注相談窓口の設置</b>            新型コロナウイルス感染症の流行により、部品等の取引に影響を受ける県内企業を支援するため、相談窓口を設置            ・実績：相談件数131件</p>